

近鉄 布施駅 周辺 眠る宮ノ下遺跡

～縄文時代から中世まで～

■史跡鴻池新田会所 所長

講師/松田順一郎

宮ノ下遺跡は、近鉄布施駅北口
(現在イオンが建っているところ)の
開発で発見された縄文時代～鎌
倉・室町時代まで続く集落跡です。

縄文時代の終わり頃、布施駅周辺
には、河内湖と呼ばれる大きな潟
が広がっていました。縄文時代から
弥生時代にかけて、人々はセタシ
ジミを中心とする魚介類をとって生
活をしていました。

なんと!

宮ノ下遺跡から出土した縄文時代
(2500年前)の貝殻を、

50袋
プレゼント!!

日時

2018年

9/23(日) 13:30~

会場

東大阪市布施駅前市民プラザ
ヴェルノール布施5階多目的ホール

参加料

無料

定員

先着170名

お問合せ

TEL 06-6781-5500
東大阪市立永和図書館



遺跡が見つかった当時の布施駅北口再開発ビル
＝東大阪市長堂一丁目